

飛行船

令和6年冬号
王寺工業高等学校
文化図書委員会広報係発

第4回王エビブリオバトル

～人を通して本を知る 本を通して人を知る～

11月14日放課後、視聴覚室にて、第4回王エビブリオバトルが行われました。

6人のバトラーさんが参戦、緊張しながらも堂々と、お気に入りの本について熱く語ってくれました。質問タイムでは、素朴な質問に発表で聞けなかったうんちくが語られたり、本やその作家さんへの「愛」が感じられる言葉があふれたり、観戦者から「へえ～」と声もれました。

また、バトラー席からも、工夫した発表に「お～、そうきたか！」なんて感嘆の声があがったり、質問の挙手があったり。学年・クラスを越えたバトラー同士のつながりにほっこりしました。



緊張の？バトラー席

みなさんの「青春」ってなに？
帯の「青春ミステリー」という文字に
惹かれたという言葉に共感した人も！

ポール・ヴァレリーの
詩をきっかけに読んだ
なんて、素敵だね！

「すべてが引用で書かれた愚痴っぽい内容」って？！気になる紹介を聞くと読みたくなるね！

西尾維新はローマ字にして逆さから読んでも西尾維新。そんな人が書く作品だから面白いです！

6人(+先生)のバトラーさんが紹介してくれた本

書名	著者	出版社
早朝始発の殺風景	青崎有吾	集英社
風立ちぬ	堀辰雄	筑摩書房
小説の小説	似鳥鶏	KADOKAWA
ブラチナデータ	東野圭吾	幻冬舎文庫
坂の上の雲	司馬遼太郎	文藝春秋
傷物語	西尾維新	講談社
季節をたのしむ ジャムと果実酒	谷島せい子	成美堂出版

ビブリオバトルに参加していい経験になりました！
『傷物語』をみんなに紹介する機会ができてよかった！

質問タイムに「まさか犯人はAIとかじゃないですよ
ね？」なんて質問に「これ以上は言えない…」とネタバレ寸前の会話が！

「読んでほしい本というより、自分が好きな本」とクールに話しつつ熱い想いのこもったシブイ1冊を紹介！

ミジコはすごい！

花里孝幸

若波ジュニア新書

いいね！

☆ビブリオバトルって？

バトラーが、5分間(今回は3分)1冊の本を紹介し、そのあと観戦者と質疑応答を行います。すべての発表後、観戦者は一番読みたくなった本に票を入れて、最多票を獲得したチャンプ本を決める書評会です。



当日病欠で紹介できなかった本。
...来年卒業生枠を作ってバトラーとして招待しては？なんて声も♪

集計中に松原先生がバトラーになって登場してくれました。フリップボードを使ったわかりやすいお話からの“出来上がったジャムの出現”に湧きました。

「スイカでもジャムは作れますか？」「ドラゴンフルーツでも？」「…家庭科の先生じゃないんだけどなあ」と言いつつ丁寧に答える松原先生(笑)。こんな質問タイムのやりとりにも笑ってしまいましたね。



川島先生による文化講座

『動画制作は自分の可能性を広げてくれる』

11月16日、川島先生に、動画制作について語っていただきました。王工生時代の放送・映像部や生徒会で活動していた姿や、大学時代の「映像」を通して人とのつながりが広がっていく様子に、驚いたり笑ったりした1時間でした。最後の質問タイムでは一斉に手が挙がり、「一番お気に入りの動画はどれですか？」「なんの編集ソフトを使っていますか？」など質問攻め。

とても「いまどき」な話なのに、視聴者からのコメントが一番嬉しいというアナログな感想が心に残りました。



王工祭で文化図書委員がお茶を点てました



裏方はこんな様子！自主的に役割分担をして効率よく作業が進みました。王工祭の数日前にお茶を点てる練習をして挑んだのですが、お味はいかがでしたか？



4回王エビブリオバトル
チャンプ本に決定！
おめでとう！

先生方が勧めてくださった本は図書室にあります♪借りに来てね。

😊 岡本真先生の巻 取材：2年 I

『嫌われる勇氣』 / 岸見一郎・古賀史健 / ダイヤモンド社

Q:好きな本は？

A:『嫌われる勇氣』という本です。

Q:どんな本ですか？

A:アドラー心理学を元に、幸せとは何か、人生の中での悩みの原因は何か、誰もが考えるテーマを対話形式で読み進めることができます。読みやすいのでオススメです。

Q:本の中で好きなフレーズは？

A:「馬を水辺に連れていくことはできても、水を飲ませることはできない」です。他人から機会を与えてもらえるが、行動するかどうかは自分次第ということです。チャンスをものにできるかは自分で決めないといけないと捉えることもできるので、生徒に知ってもらいたいです。

☆司書のオススメの一冊 『未来地図』
/ 小手鞠るい著 / 原書房

王寺町が舞台の恋愛小説『未来地図』の出版記念講演会に参加しました。(なんと「りーべる王寺」に作家さんが来られました#^^#)

アメリカ在住の作家小手鞠るいさんと王寺町との付き合いは、小手鞠さんがSNSで「王子町」と書いてしまったことがきっかけだそうです。前作の『ラストは初めから決まっていた』でもラストに王寺町が描かれたのですが、誤字を申しわけなく思っ、今度は王寺町での話をきちんと書こうと思っ、てくださったそうです。

小手鞠さんと王寺町職員の方のお話が楽しく、思わず吹き出しながら聞きました。奈良が舞台の映画やドラマを見ると、奈良公園で会話しているシーンなのに、次の瞬間ここ平城宮跡やん！瞬間移動してるやん～なんてツッコミましたことありませんか？王寺町職員さんは、王寺町に住んでいる人にも違和感なく読んでもらいたい！との強い使命感で瞬間移動のないように(笑)校正されたそうです。(修正の赤字がいっぱい入った生原稿を見せてもらいました！)どうぞ現地目線で、ここはあの場所だ～なんて想像しながら楽しく読んでみてください。ちなみに、主人公と恋の相手との出会いの場所は、王寺町立図書館なのですよ。

小説の話や住んでいるアメリカの話、そして最後に「日本の本は世界一美しい」と、表紙などの装丁について語ってくれた言葉がとても心に響きました。

😊 柘井先生の巻 取材：3年 Y 『種まく子供たち』 / 佐藤律子 / ポプラ社

Q:先生のお気に入りの本はなんですか？

A:お気に入りというか、読んで考えさせられた本は『種まく子供たち』だよ。本の内容としては、小児ガンの子供たちの話で、自分たちが普段気にしていないような、母親との絆とか、父親との絆とか、そういった家族の大切さに目を向けられた本になっていて、読んでいて涙してしまっ、たよ。

是非、高校生のみんなにも読んでほしい本なんだけど、みんなにも、当たり前だと思っ、ていることは、実は当たり前じゃないってことに、気が付いてお母さんとかお父さんに感謝できるような人になってほしいと、私は思っ、います。

Q:先生と図書室の思い出を聞かせてください。

A:大学生になるまでは、図書室に行くことはほぼほぼなかったんだけど、真面目な友達に誘われたのがきっかけで図書室に行くようになったよ。当時は自分の好きなパソコンや車関係の本や雑誌を読んでいたよ。

図書室は、いい本があったり静かだから、自分なりにゆったり過ごせるのが魅力だと思っ、います。みんなも時間があつたら、ふらつと図書室に行ってみてもいいと思っ、うよ。

😊 スクールカウンセラー 小亀先生の巻

『西の魔女が死んだ』 / 梨木香歩 / 新潮文庫

おばあちゃんの危篤の知らせとともに、主人公のまいがおばあちゃんと過ごした日々を思い出すお話です。

中学に入学し、不登校になったまいは、自らを魔女と呼ぶおばあちゃんと暮らします。そして魔女修行をうける事になります。その修業とは？

まいは、どのようにして不登校から立ち直って行ったのか是非読んで欲しい一冊です。

😊 司書渡邊の巻 取材：3年 U 『汝、星のごとく』 / 凧良ゆう / 講談社

先日初めて「読書会」に参加しました。課題本は、今年度本屋大賞の『汝、星のごとく』です。最近各自オススメ本を紹介するフリートーク形式が多いようですが、1冊の本について、タイプの違う人たちがそれぞれ感じたことを話す形式の読書会はとても面白かったです。

本校の図書室でも返却のときに、この登場人物が気になった、ラストびっくりした、など感想を話してくれる人と返却本についてお話します。それもある種読書会みたいで楽しいです。

『汝、星のごとく』は、暁海と權が高校生から31歳になるまでの二人の関係が描かれているのですが、恋愛小説というよりも「マイノリティ(少数派)」のお話という感じ、です。